

## ①情報処理技術者試験シラバスを分解する

・情報処理技術者関連スキルに関連している大学を搜索し、東京大学、慶應義塾大学、明治大学などの関連する学部及び専攻（情報系）のシラバスを使ってシラバス分析調査を進めた。結果、**情報処理技術者スキルとの整合性は高くないことが明確になった。**

・CCSF（共有キャリア・スキルフレームワーク）が高度情報処理技術者試験の下敷きであることから、CCSFカリキュラム設置大学を調査した。結果、**産業技術大学院大学情報アーキテクチャ専攻がCCSF対応カリキュラムを設置していることが判明した。**

## IPA（情報処理推進機構）コンピテンシーマップの分析

- 高度情報処理技術者試験
  - ITストラテジスト（レベル4）
  - システムアーキテクト（レベル4）
  - プロジェクトマネージャ（レベル4）
  - ネットワークスペシャリスト（レベル4）
  - データベーススペシャリスト（レベル4）
  - エンベデッドシステムスペシャリスト（レベル4）
  - ITサービスマネージャ（レベル4）
  - システム監査技術者（レベル4）

CCSF(共通キャリア・スキルフレームワーク)

→CCSFが情報処理技術者試験の下敷き

**CCSF（共通キャリア・スキルフレームワーク）対応カリキュラムの搜索**

→産業技術大学院大学情報アーキテクチャ専攻が  
CCSF対応カリキュラムを設置していることが判明

## ②対象授業を科目データベースにする



・当該カリキュラム＝情報処理技術者試験のスキルとなることから、産業技術大学院大学情報アーキテクチャ専攻カリキュラムのシラバス分析を進め、キーワード抽出を行った。

作業工程としては、

### (1)該当科目から、科目内容のキーワード抽出を行う

キーワード抽出にあたり、キーワード候補群と情報処理技術者試験シラバスと対比させて、キーワードの抽出作業を行った

### (2)科目名を代表する検索キーワードへの変換を行う

科目内容のキーワードでは、細かすぎて検索キーワードとしてはふさわしくないため、検索キーワードのために水準をあげたキーワードへの変換が必要でその作業を行った

(1)(2)の作業を各科目で行ない、検索科目データベースを作成した。

## ※参考：一部抜粋

中分類	識別番号	小分類	該当科目名	科目内容のキーワード	科目名検索用キーワード
基礎理論	K-01-01-01	離散数学	情報数学	2進数 基数 数値表現 演算精度 集合 ベン図 論理演算 固定小数点数 浮動小数数 2進化10進数 BCD パック10進数 論理シフト 算術シフト 桁落ち 情報落ち 丸め 打切り オーバーフロー 単精度 倍制度 カルノー図	情報数学 情報アーキテクチャ 応用数学 プログラミング プログラム理論 計算機理論 計算理論 計算モデル 離散数学 スイッチング理論 論理設計 情報科学 情報数学